



馬淵川にヤマメの稚魚を放流する葛巻小の児童たち

### 元気で大きくなってね 葛巻小で稚魚放流体験

10月11日、葛巻漁友会（柳澤和夫会長、会員30人）は上馬淵川漁業組合の稚魚放流に合わせ、葛巻小の1、2年生の児童を対象にヤマメの稚魚の放流体験を行いました。子どもたちは、バケツに入ったヤマメの稚魚に「元気でね」「大きくなってね」と声を掛けながら川の流に任せるようにそっと放流。50組、約5,000匹の稚魚を放流しました。同組合の中瀬正一副会長は「川をきれいにし、馬淵川を守ってほしい」と呼び掛け、子どもたちは元気に「はい」と約束していました。



交通安全を呼び掛けながら手作りのカードを手渡す一日警察署長を委嘱された上柳昊世くん

### かわいい一日警察署長 交通安全を呼び掛ける

9月25日、葛巻保育園（茅森幸子園長、園児72人）の年長児3人（明石悠那ちゃん、上柳昊世くん、門場雛乃ちゃん）が岩手警察署から一日警察署長を委嘱されました。園児たちは警察署員や町交通安全母の会のメンバーらと13世帯を訪問。「こうつうの一をまもろうね」と書かれた手作りカードや防犯用のライトを手渡し交通安全を呼び掛けました。寺坂常春さん、タケさん夫妻は「車間距離や十字路に気を付けたい」と愛らしい警察署長の訪問に目を細めていました。

### くずまきクラフト市開催 お気に入りの一品を求め

くずまきクラフト市（同実行委員会主催、南館則江代表）は10月7日と8日の2日間、町内外から計31組が出店し、町家で開催されました。訪れた人たちは、一つ一つ個性あふれる手作りのかばんやアクセサリーを手に取り、こだわりの作品に関心しながら出店者との会話を弾ませていました。また、オリジナル作品を作ることができるお店では、作り方を熱心に聞き、自分だけの作品を完成させ手作りの楽しさを満喫していました。



個性あふれる手作りの作品に興味津々の皆さん

### 岩手ビッグブルズ開幕戦 山車組若衆秋まつり再現

9月29日と30日の2日間、町社会体育館でプロバスケットボール、岩手ビッグブルズ対鹿児島レブナイズの公式試合開幕戦（Bリーグ3部）が行われ、両日で約1,100人が迫力あるプロの試合を観戦しました。初日のハーフタイムでは、各山車組の若衆がくずまき秋まつりを再現。威勢のいい音頭上げや力強い太鼓を披露したほか、ミルンちゃんと一緒にキレのあるダンスを披露し、会場を盛り上げました。熱気を帯びた大声援を受けた岩手ビッグブルズは、開幕戦を2連勝で飾りました。



各山車組のはんてんを身にまとい威勢のいい音頭上げで会場を盛り上げる若衆の皆さん



鈴木町長から定住奨励金を手渡される遠藤雅子さんと補助金の交付を受けた皆さん

### くずまき暮らしを応援 3世帯に補助金を交付

定住奨励金と新婚ライフサポート金、定住対策住宅取得支援事業補助金の交付式は10月10日、町長室で行われ3世帯に補助金が贈られました。定住奨励金を受け取った遠藤雅子さん（22歳、土谷川）は、くずまき高原牧場で開催しているスノーワンダーランドに小学2年生から参加。「高校生まで毎年参加し、町の方の人柄の良さと自然が自分に合っていると思った」と移住を決意。現在は、山地酪農研修センターの研修生としてパンハウスに勤務しています。



「白内障と涙目」と題して講演する木澤純也医師と無料眼科検診（眼圧測定）の様子（円内）

### 目のお悩み無料で相談 眼科医療相談会を開催

岩手県眼科医会（森敏郎会長、会員120人）主催の「眼科医療相談会」は9月29日、小屋瀬農村センターで開催され近隣住民ら約30人が訪れました。岩手医科大学附属病院の木澤純也医師が「白内障と涙目」と題して、白内障の治療や進行予防のほか涙目の原因など、気になる目の悩みについて講演。その後、眼圧測定と眼底検査、無料相談が行われました。鈴木直身さん（66歳、小屋瀬）は「気になる症状を直接眼科医に聞いて、いい機会になった」と満足した様子でした。